

チームで取り組む患者指導

～大腸がん術後パンフレットの作成・使用を通して～

西病棟 8 階 ○瀬戸乃扶子 井田奈緒子 国枝美代子 坂尾雅子

key words : チーム医療、患者指導、パンフレット

II. 方法

1. 対象：改訂後パンフレットを用いて患者指導を行った看護師 20 名、医師 2 名、薬剤師 3 名、管理栄養士 7 名
2. 期間：2006 年 11 月から 2007 年 7 月
3. データの収集及び分析：改訂後パンフレットでの指導状況を振り返る。パンフレット使用後の患者指導の変化についてスタッフアンケートを行う。
4. 倫理的配慮：本研究の目的、プライバシーの保護、参加拒否の自由を説明し協力を得た。

はじめに

大腸がん患者は近年急激に増加し、当院でも大腸切除術を受ける患者は増加の一途をたどっている。全ての患者に効率よく質の高い医療を提供するため、チーム医療を充実させる必要性がさらに高まっている。

従来、看護師が行っていた術後の指導は腸閉塞予防を中心としたパンフレットを用いたものであった。その他医師、薬剤師、管理栄養士がそれぞれ異なる媒体を用いて統一されないままに指導を行っていた。

H17 年より当科ではチーム医療を実現するためにクリニカルパスを導入した。これに伴い、術後の流れに沿い、チーム員が統一した媒体を用い患者指導を行うことが質の高い医療の提供に繋がると考えられた。そこから、従来のパンフレットをクリニカルパスにもとづき、内服指導・食事指導・退院に向けての生活指導が盛り込まれたものに改善した。そこで、パンフレット改訂から半年が経過した現時点でパンフレットの効果と改善点を評価し、次の改訂につなげることにした。

I. 目的

大腸がん術後パンフレットを使用している患者指導について評価を行う。そこから、さらに充実した患者指導が提供できるパンフレットへの改善とチーム医療の再構築へつなげる。

III. 結果および考察

パンフレットは「腸閉塞」「排便コントロール」「内服」「食事」「退院に向けて」の 5 項目に分かれる。定期的なカンファレンスの開催を経て医師・看護師・薬剤師・管理栄養士が認識を統一させながら協同して作成したものである。

食事再開前日に看護師からパンフレットを渡し、腸閉塞とそれを予防するための排便コントロールや食事摂取方法について、術後 3～5 日目に薬剤師から内服について、術後 6～7 日目に管理栄養士から患者本人と家族に摂取方法や調理方法を含めた栄養について指導を行う。医師からは毎日の診察時や病状説明時に指導が行われる。このようにチームとして一貫した指導ができるようになった。

アンケートは、看護師 16 名、医師 2 名、薬剤師 3 名、管理栄養士 4 名から回答が得られた。回答内容については表 1 に示す。

チーム員がクリニカルパスの流れに沿い、統一した媒体を使用することで、どの患者に対しても一貫した

指導を行えた。異なる媒体を用いての指導と比較すると、スタッフ間での認識が統一されているため、それぞれの患者指導の矛盾が少なくなり患者の混乱も減少したと思われる。また、パンフレット内容も腸閉塞予防を中心として食事や内服について書かれており、全スタッフがそれぞれの項目を横断的に指導していることが多い。患者側は看護師・薬剤師・栄養士の指導のたびにパンフレットを開き読むことになるため理解が深くなることが予測される。さらに、何度も読み込み途中で疑問などが生じ、看護師からの説明後、薬剤師や管理栄養士に疑問点を質問し、解決しようとする姿も見られた。このことから、患者自身が自分の治療に参加する意欲を向上させているのではないかと考えられる。

上記のようにスタッフが指導が充実していると評価している反面、スタッフ間での情報交換はさほど密ではない。パンフレット作成時に、指導についての方向性をチーム間で情報交換を行い認識統一できたことは有意義であった。しかし、担当分野が明確になり専門家への一任ができるようになってきているため、個々の患者指導についてチーム間での情報交換が活発化しないのではないかと考えられる。問題を持つ患者の指導に関わる際、患者が健康を維持するために必要なセルフケアを習得できるように、チーム間でのつながりを利用しよりよい指導を提供できる体制を構築していく必要がある。

指導内容が理解されにくく、追加説明が必要であったことや言葉の分かりにくさ、読みにくさ、もっとよい紙であってほしいという意見も得られた。さらに質の高い指導の提供を目指し、見易さや理解しやすさ、退院後の生活指導について充実させるなどの改善を加え、利用性の高いパンフレットを作成していく必要性を感じた。

IV. まとめ

ひとつのパンフレットを通して、医療スタッフが統一した患者指導ができたことで、チーム医療の充実につながったと思われる。また、繰り返し指導するため、患者も熟読し、質問するなど患者参加型の医療が可

能となった。

今後は更に理解しやすいパンフレットを目指し、用語などの改善に加え退院後も活用できるよう改良していく必要がある。また、指導充実のためスタッフ間での情報交換を活発できるように、パンフレットの見直しやパスへの組み込み方の改善など体制を見直していく。

V. 研究の限界

本研究では、指導に対する医療者側からの評価を行っており、患者からの意見は得られていない。そのため、これらの指導を適切に評価するには限界がある。

参考文献

- 1) 島早苗：ナースが知りたい！臓器別・栄養管理&食事のポイント 大腸手術を受ける患者さんの場合，消化器外科ナーシング，Vol10.No8, 30-34, 2005
- 2) 藤美智子：栄養管理&食事のポイント コラム 1 管理栄養士さんにお問い合わせのこと，消化器外科ナーシング，Vol10.No8, 64-66, 2005

表1 アンケート結果

	パンフレットでの指導はやりやすいか	他種職との意見交換をしたことがあるか	その他の意見
看護師	<p>はい)15名 いいえ)0名 どちらでもない)1名</p> <p>理由:・もれなく指導できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい言葉で書かれている、順を追って説明すればよいので指導側よりも患者様が参考にできるものがあるので分かると思う。 ・自分にとっても勉強になった。 ・大きさが前より見やすい、分量もよい。 ・患者様から不明だと質問されることもなく、追加で説明することはなかった。 ・カラーだから、食事や安静度など知りたいことがしっかり書いてあるため。 ・説明することがもれなくできる。詳しいこと、聞きたいことは専門の職種の方に確認できる。 ・簡潔で教えやすい。 ・患者様にも分かりやすい言葉で表現しており、退院後の生活のことも書いてあるのがよい。 ・もれなく統一した指導ができる。 ・パスどおりのひとには説明しやすいがそうでない人にはやりにくい。 	<p>はい)3名 いいえ)13名</p> <p>例:・医師と栄養指導の日を調整したり、薬剤師に指導を依頼したり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスを逸脱したあとの指示など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・控えたらよい食材はやっぱ食べたらダメだと思っっているようだ。病院食に出てきて怒っているひともいた。 ・説明したが難しいところ。 ・栄養指導までに聞きたいことなどパンフレットに書き込んでいるので栄養士さんに確認できたといっていた。 ・大腸癌以外にも流用したいので関係部位を抜粋したコピーとして使いたい。 ・患者様からわかりやすかった、役に立ったという意見があった。 ・ご高齢の方で字が読みにくい方がいた。 ・高齢の方から内容がわかりづらいといわれた事がある。文字は少ないが更に簡単に表現したほうがよさそう。
薬剤師	<p>はい)3名</p> <p>理由:・ある程度薬剤やイレウスについて患者が理解している状態で指導できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつのパンフレットで内容が項目ごとに分かれているため横断的に説明できた。 ・退院間近な方が排便コントロールに関して積極的であるため指導しやすい。 ・服用開始時期はある程度ナースからの薬の内容を聞いているため理解良好だった気がする。 	<p>はい)2名 いいえ)1名</p> <p>例:・薬剤の服薬方法。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下剤の調整方法について薬の服薬方法について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パス介入時(特に薬剤指導時)前の連絡方法の統一化
栄養士	<p>はい)4名</p> <p>理由:・パンフレットを読まれていてわからないところを質問してくれるので時間の無駄なく指導が出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な情報がひとつになっているため患者様が理解しやすいようだ。 ・栄養指導の事前に目を通していただいているので患者様からの質問も受けられる。 ・患者様が読まれてからの指導なのでキーポイントを押さえて話ができる。 ・患者さんも聞きたいことを聞いて満足している。 	<p>はい)2名 いいえ)2名</p> <p>例:・食事の傾向や食行動など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維の多いものを好まれる方など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成にあたり医師・看護師のみなさんとミーティングで意見交換することで医療スタッフ間での意見考えの統一が図れ、指導する際にも「～はこう話していた」というが声が少ない。 ・我々にとっても患者さんにとっても有効に活用できていると感じた。 ・患者様からはひとつのパンフレットになっているから家に帰ってからも参考になる安心だと意見があった。 ・これを何回も読んだからだいたいわかるというコメント
医師	<p>どちらでもない)2名</p> <p>理由:パスやパンフレットに医師からの指導予定がない。</p>	<p>はい)2名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もっといい紙で作ってほしい。 ・食べ方のポイント「腹八分目」を強調してほしい。